

私たちの寝屋川市では…

今、地域に根差したさまざまな福祉のまちづくりが進められています

これから私たちには、変化する地域の課題や問題に対応することが求められています

- 小学校区の福祉委員会でまちかど福祉相談所や住民懇談会を開催しています。
- 小学校区での見守り・声掛け活動が広がり、事業者とも連携した緊急時安否確認(かぎ預かり)事業が始まりました。
- 市民や団体がより良いコミュニケーションづくりを積極的にすすめ、主体的な参加による協働をすすめてきました。

- 少子高齢化がいつそう進行し、老老介護や認知症の方への支援がさらに大きな課題になっています。
- さまざまな世代での貧困や孤立死、ひきこもりなどの深刻な問題があります。
- 担い手の不足や連携のしにくさといった課題もあります。

地域福祉活動の課題と今後の希望はこんなこと！

活動の課題	今後の希望
支援が必要な人などの状況 若者、母親、外国籍、支援が必要な人や家族などが孤立しやすい	何でも気軽に相談できる場をつくり、必要な支援につないでいきたい
地域のつどいの場や居場所 住民の交流が少なく、世代を超えて出会う場がない	ひきこもりの人の居場所、障害のある人が受容しあう場などをつくりたい
災害時の支えあい 防災訓練に参加する住民が少ない	子どもや若い人も参加しやすい防災訓練、地域と福祉施設の合同避難訓練をしたい
地域福祉の担い手 活動者が高齢化しているが、働いている人が多く、参加が難しい	仕事をしている人などでもできる活動や、「お試し」で参加できる活動をつくりたい
地域福祉活動への支援 立ち上げには支援があるが、活動を継続するための財源も必要	施設の部屋を開放し、地域の居場所づくりに活用していきたい
地域福祉に関する連携 制度がタテ割りになりすぎて、狭間ができたり、全体を見るところがない	分野を超えて、さまざまな団体、事業者、機関などの連携をすすめたい

※市内26団体へのヒアリングから一部抜粋

この計画は多くの方の協力のもと策定しました！

第2次寝屋川市地域福祉活動計画 未来福祉ねやがわプラン

【事務局】
社会福祉法人 寝屋川市社会福祉協議会
 〒572-8533 寝屋川市池田西町28-22
 市立総合センター1階
 電話072-838-0400
 FAX072-838-0166

【活動の様子】
 視界が広がり 仕事もしやすくなる 新たなことができる
 他団体(市民のスポーツ) (NPO) とつながっています。 保育園、からえん

平成30年10月 編集・発行

第2次寝屋川市地域福祉活動計画 概要版

未来福祉ねやがわプラン



地域福祉活動のスローガン
つくりつなぎ つながろう! 未来福祉ねやがわ
社会福祉法人 寝屋川市社会福祉協議会

地域福祉活動計画とは？

私たちの困りごとや、できること・したいことを集めて作りました!

地域福祉活動計画のなによりの特徴は、わたしたち一人ひとりが主人公の計画だということです。それは、地域福祉活動は、市民のさまざまな「困りごと」を放ってはおけないという、わたしたちの主体的な「思い」から生まれるものだと考えるからです。

そのために、それぞれが“できること・したいこと”を考えて、それぞれが独自に取り組み、さらに、それをかたちにすることでみんなで共有し、役割を分担したり協力して取り組み、さらに、地域の資源を活かして支援していくことで、より大きな力となって効果的にすすめていくことが、地域福祉活動計画をつくる大きな目的のひとつです。



公・民の役割分担に基づき、「民の活動」をすすめるための計画です

地域福祉活動計画は、行政が策定する地域福祉計画(保健福祉のマスタープラン)と両輪となり、市民や団体などの活動の方向性や、連携の仕組みづくり、また多様な「民」の思いを市の地域福祉計画に提言するよう取りまとめる役割もあります。



すすめ方

それぞれが、できること・したいことで参加し、協働して推進していきます

- 1 一人ひとりの市民、団体、事業者等が主体的に参加します。
- 2 それぞれがつながり、協働して推進します。
- 3 社会福祉協議会や市・関係機関などが、市民や団体等と連携したり支援を行いながら進めます。
- 4 それぞれの“できること・したいこと”を持ち寄り共有し、取組みを進めます。
- 5 同じ「思い」をもつ人が、それぞれの強みを活かして協働していくための話しあいの場などもつくっていきます。
- 6 取り組んだことなどの振り返りも行い、みんなで成果や課題を共有しあって、さらなる活動につないでいきます。

評価方法

計画推進委員会を設置し、計画全体の推進のための検討や評価を行っていきます

寝屋川市の地域福祉に関わる団体の代表者などによる「寝屋川市地域福祉活動計画推進委員会」を設置し、計画全体をすすめるための検討や、進捗状況の点検、必要に応じた見直しなどを行っていきます。



活動の柱 × 活動のポイント

みんなの**できること・したいこと**
何を大切にするのか、確認しながら進めていきましょう！

重点的に取り組む活動の柱

理解と支えあいのつながりづくり

- 生活の“困りごと”はだれにも起こりうることであり、一人ひとりが“我が事”として考えていかなければなりません。
- 地域には多様な人が暮らしていることをおたがいに理解し、いざというときには支えあえるつながりをつくっていきましょう。

困りごとの発見と支援へのつなぎ

- 多くの支えあいは“困りごと”に気づくところから始まります。
- まわりの人が気づいて本人に促したり、緊急の場合は支援につなぎましょう。
- 地域に根ざした見守りや、積極的な相談支援などをすすめていきましょう。

安心して過ごせる場づくり

- つどいの場(居場所)を、自分にあつたところを選んで行けるように、地域のさまざまな資源を活かしてつくっていきましょう。
- 一人ひとりが“できること・したいこと”で担い手としても参加することを通じて、“自分らしい”生活を実現する場にもなるよう、一方的に“する・される”という関係乗り越えた運営をめざしましょう。

地域福祉の活動や仕事の担い手づくり

- 自分にあつた活動に参加できるように、参加のきっかけづくりをすすめましょう。
- 無理なくできる活動や雰囲気づくりなど、参加しやすい環境を整えていきましょう。
- 人と関わりあい、支えていく仕事の魅力を伝えていきましょう。

活動する人々のネットワークの強化

- 「地域共生社会」の実現に向けて“丸ごと”のしくみづくりが求められるなかで、さまざまな分野や立場で支える人や組織どうしのつながりづくりをいっそうすすめ、各々の“強み”を活かした活動や事業を展開していきましょう。
- 活動を立ち上げたり、継続していくうえで役立つ情報やアドバイス、拠点、物資、財源などのサポートを、地域の多様な資源を活かして充実するよう、社会福祉協議会がコーディネーター役を担いながら、協力してすすめていきましょう。

柱とポイントを



掛け合わせて考えよう！



多様な人々が、参加できるようにしよう!

- だれもが“できること・したいこと”で参加する地域福祉活動を進めよう。
- それぞれの状況や“思い”に応じてできることをめざしましょう。

一人ひとりの強みを活かし、役割分担・協働してすすめよう!

- 多様な人々が参加することで、“強み”も多様になっていくことを活かし、うまく役割を分担し、補いあうように協働することでいっそう効果的な活動にいくよう、みんなで考えて、またコーディネートの機能も高めながら、取り組んでいきましょう。

地域のヒトや組織のつながりを強めていこう!

- 地域での活動をすすめていくうえで、人や組織のつながりは重要なものですが、それは、活動を通じていっそう強くすることができるものです。
- おたがいに理解を深めながら、日常的に支えあえるつながりづくりも考えて活動をすすめていきましょう。

コミュニケーションを深める場を、意識的につくりよう!

- 上記3つの視点を含め、多くの人々が主体的に参加し、地域の課題を解決する活動をすすめていくには、しっかり話しあい、コミュニケーションを深めていくことが不可欠です。活動に追われて、おろそかにならないように、意識して取り組んでいきましょう。

一人ひとりの困りごとや、地域の課題の解決をめざそう!

- 地域福祉活動は、活動を通じてつながりを強め、住みよい地域づくりをすすめることにもつながりますが、最も基本的な目的は、地域で暮らす人々の“困りごと”や、地域の課題を解決することだということを大切にして、活動をすすめていきましょう。

大事にしたい活動のポイント

みなさんの
“できること・したいこと”が
地域福祉をすすめます!

思いを形にするために、行動計画を作りましょう。そして、みんなで思いを伝え、同じ思いを持つ人などと協働して、それぞれの強みを活かした役割分担のもと、協力して取り組みを進めましょう!

行動計画のイメージ

地域で生活する上での“困りごと”や、地域の中で気になっていること

例: 買い物に来るお客さんに気になる人がいます。(商店の店員)

あなたやあなたが所属している団体などで取り組みたい・続けたいこと

例: 新たな担い手を増やすために、このプランをみながら話し合ってみます!(福祉委員)

取り組みを進めるうえで、他の人や組織と協力したいこと

例: 施設と地域の交流の場として、高齢者と子どもの交流の場を考えていきたい!(福祉施設の施設長)

取り組みを進めるうえで、支援をしてほしいこと

例: より多くの熱い思いを持つ方とコラボして、障害者理解を進めていきたい! 交流の場があれば教えてほしい!(NPO法人)

社会福祉協議会が重点的に取り組むこと

[1] つながりづくりと話し合いの場の開催

- 住民や福祉関係者のつながりづくりと話し合いの場として、「しゃべり場」を開催します。

[2] 新しいしくみや取組を考える場の開催

- 話しあいや活動を通じて見えてきた課題を解決する方策などを検討する場として、「未来福祉デザイン会議」を開催します。



[3] 地域福祉を推進する活動への支援

- コミュニティソーシャルワーカー(CSW)が活動と一緒に考え、情報提供やアドバイスをより一層行います。
- 新たな活動の立ち上げや充実などを支援するため、公募方式による助成制度〔(仮称)未来福祉ねやがわ助成金〕の設置や、各種助成金の申請に関する支援などを行っていきます。

[4] 地域福祉の情報発信

- 市内で行われているさまざまな福祉活動の情報を収集し、各種事業などを通じて発信していきます。
- 社会福祉協議会の組織やネットワークを活用して、必要な人に必要な情報を伝えるしくみなどの検討を進めます。

[5] 福祉教育(共育)の推進

- 当事者の方々などに参加してもらいながら、「ともに教え、学びあう」という視点にたった実践的な学習を進めていきます。



[6] 地域福祉の新たな担い手づくり

- 多様な人々が活動に参加するしくみや、参加しやすい活動づくりなどを、各団体等と連携して検討します。
- 特定の活動に焦点をあてたボランティアを養成するための講座の開催や、有償の活動についての調査研究など、活動に対する多様な“思い”をふまえた担い手づくりを推進します。
- 協働による活動をすすめるうえでのコーディネーター役や、話しあいをすすめるうえでのファシリテーターを養成するための講座などを行っていきます。

[7] 災害に備えるまちづくり

- 災害時に要配慮者を的確に支援するためのプラン・体制づくりや訓練などを、地域や当事者団体などとも連携して取り組みます。
- 多様な立場で、さまざまな支援ができる災害支援ボランティアを組織化していくよう、いっそう推進します。



[8] 地域福祉活動計画の推進

- 「寝屋川市地域福祉活動計画推進委員会」を設置し、計画全体をすすめるための検討や、進捗状況の点検と評価、必要に応じた見直しなどを行っていきます。
- “できること・したいこと”を共有する話し合いの場や「行動計画」づくりをすすめ、各々の活動を促進するとともに、地域福祉活動計画への理解を広げていきます。